

砂漠化の原因

砂漠化の原因として、『気候的要因』と『人為的要因』の2つが挙げられます。

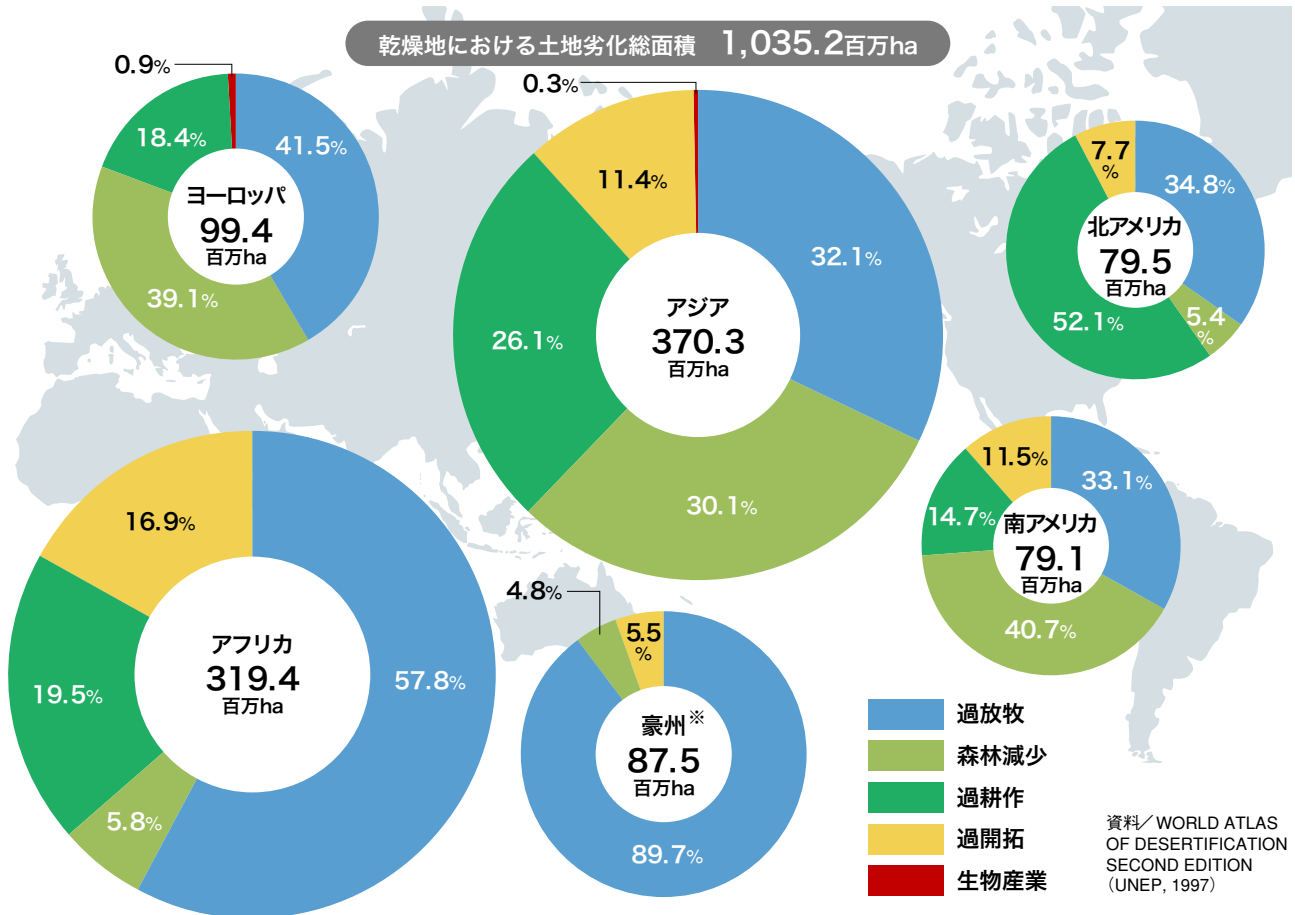
気候的要因: 地球的規模での気候変動、干ばつ、乾燥化など。

人為的要因: 過放牧、森林減少(薪炭材の過剰採取)、過耕作など乾燥地域の脆弱な生態系の中で、その許容限度を超えて行われる人間活動。こうした人為的な要因は、人口増加、市場経済の進展、貧困などを背景に生じると考えられています。

砂漠化の要因となっている人間活動による土地への圧力は、乾燥地域に住む人口にも密接に関わっています。本頁下の表は、各大陸の乾燥地域に住む人口の、各大陸の総人口に占める割合を示しています。特にアフリカやアジアの割合が高いことが分かります。

乾燥地域に住む多くの人々の農業や生活などの人間活動が、脆弱な土地への圧力となり、更に土地の劣化を進行させるという悪循環となっています。

▼世界の乾燥地域における土地劣化の要因と面積



▼乾燥地域に住む人口と、総人口に占める割合

単位: 千人 〇は各大陸の総人口に占める割合

	極乾燥地域		乾燥3地域				計		
	乾燥地域	半乾燥地域	乾燥半湿润地域	計	割合				
アフリカ	58,175	9%	41,366	6%	117,573	18%	109,038	16%	40%
アジア	29,506	1%	161,556	5%	500,695	15%	657,899	19%	39%
豪州※	0	0%	275	1%	1,352	5%	5,318	19%	25%
ヨーロッパ	0	0%	628	<1%	28,811	5%	115,146	21%	26%
南アメリカ	3,877	1%	6,330	2%	46,851	16%	33,777	12%	30%
北アメリカ	508	<1%	12,750	3%	53,900	13%	24,342	6%	22%

※ニュージーランド及び近海諸島を含む
資料 / Aridity zones and dryland populations: an assessment of population levels in the world's drylands with particular reference to Africa (UNDP / UNSO, 1997)